

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

京都華頂大学 現代家政学部

現代家政学部では、家族・家庭、地域、社会における生活に関する専門的な知識を修得し、多様な価値観を尊重する豊かな人間性と変化を続ける社会の担い手として貢献できる資質・能力を備えた者に学士(家政学)の学位を授与する。

現代家政学科

現代家政学科では、学部の学位授与の方針に基づき、以下の資質・能力を総合的に身に付け、知識基盤社会の発展に貢献できる力を備えた者に学士(家政学)の学位を授与する。

- (1) 知識・理解
 - ・現代の家族・家庭、地域、社会の諸問題に関する専門的知識を有している。
 - ・人間の一生(ライフステージ)における各段階の多様な生き方に関する幅広い知識を有している。
- (2) 汎用的技能
 - ・会話、文章を場面や目的に合わせて適切に使用することができる。
 - ・自然や社会的事象について、統計等を用いて分析し定量的に理解できる。
 - ・情報通信技術(ICT)を活用した情報の収集・分析によって、情報リテラシーを身に付けることができる。
 - ・フィールドワークや事例研究により、情報や知識を深めるとともに定性的に理解できる。
- (3) 態度・志向性
 - ・課題解決のために、社会のルールに従い自らを律して、自己の良心に従って主体的に行動できる。
 - ・相互理解による他者との協調を進め、共通する目標のために協働できる。
 - ・知識や技能等を活かして社会に貢献し、市民としての責任を果たすことができる。
 - ・生涯を通じて学習する意識を持ち、その基礎を身に付けることができる。
- (4) 総合的な学習経験と創造的思考力
 - ・獲得した知識・技能、態度等を総合的に活用して、主体的に企画・立案し、地域、社会の課題解決に貢献する能力を有している。

食物栄養学科

食物栄養学科では、学部の学位授与の方針に基づき、以下の資質・能力を総合的に身に付け「健康長寿社会の実現」に貢献できる力を備えた者に学士(家政学)の学位を授与する。

- (1) 知識・理解
 - ・食物栄養学についての専門知識を有している。
 - ・人間の一生(ライフステージ)における各段階の多様な生き方に関する幅広い知識を有している。
- (2) 汎用的技能
 - ・会話、文章を場面や目的に合わせて適切に使用することができる。
 - ・数量データを含む多様な情報を収集・整理・分析し、正しく活用できる。
 - ・科学的視点を持って課題を発見し、論理的に分析、解釈することができる。
 - ・使命感と責任感をもって職務を遂行するために適切なコミュニケーションを取ることができる。
- (3) 態度・志向性
 - ・課題解決のために、社会のルールに従い自らを律して、自己の良心に従って主体的に行動できる。
 - ・他者との相互理解による協調を進め、共通する目標のために協働できる。
 - ・豊かな人間性、生命への尊厳や職業に対する倫理観を持って行動できる。
 - ・社会から期待されている専門職としての役割を果たすため、求められる専門性を意識し、主体的に目標を持って学び続けることができる。
- (4) 総合的な学習経験と創造的思考力
 - ・獲得した知識・技能、態度等を総合的に活用し、地域、社会の人々の健康で豊かな暮らしの実現に寄与できる能力を有している。